

健康 進取 敬愛

北中だより

文責：三田 康弘

生徒の皆さんへ

北中生徒の『美質を鍛える』姿に感動！！

3年生・・・『修学旅行』で見せた有言実行の姿

3年生の皆さん、2泊3日の修学旅行、大変お疲れ様でした。きっとこの修学旅行は皆さんの生涯の思い出に残ることと思います。私は修学旅行中での皆さんの様子を見させていただいて、とても感じるものがあり、また感謝したい気持ちでいっぱいです。そのことをこの場でお伝えします。最初に、私が修学旅行の中で3年生の皆さんから見せてもらった、素晴らしい姿を紹介いたします。

- 初日の朝、「校長先生、集合時刻前ですが、全員が校庭に揃いました。」の報告を受けました。集合時刻前に全員が揃ったというのは、今までの修学旅行にないことでした。
- 誰かが話しをするために、全体の前に立ったとき、集中して話を聞いていました。
- バス内ではどうしても嬉しくて、ガイドさんの話を聞かずに隣の友達と話してしまう人が多いのですが、誰もが、しっかりと聞いていました。その姿に一人のガイドさんから「こんなに集中して話しを聞いてくれる生徒さん達もいるのですね」と言われました。
- 旅館の人達や旅行会社の添乗員さん、バスの運転手さん、ガイドさんに対しても、その都度、挨拶やお礼の言葉を自然に発していました。
- 男女の仲がとにかく良いです。見ていて、ほほえましく思うほどです。だから班別活動でも、集合時刻には、ほとんど遅れることなく仲良く行動できました。
- 携帯電話やスマホ、ゲーム機など、必要のない物を持ってきた人はいませんでした。これは当たり前なことなのですが、全員が守ったというのが素晴らしいことです。
- 3日間、体調を崩すことなく、全員が自分の健康管理ができていました。
- 最終日、班活動終了後にタクシーで京都駅に集まった後、3年生達は、ざわつくこともなく整然と集合場所に並んでいました。実にみごとでした。同時に太田市の4校の中学校もそこに集まっていたのですが、北中生の落ち着きには目を見張るものがありました。
- 3日目の帰り、新幹線が東京駅に到着してから、バスが待っている鍛冶橋のバス停までの移動を見ていて、私はびっくりしました。まず、新幹線を出るスタートが素晴らしく良かったです。それは新幹線に乗る前の添乗員さんの話を全員がしっかり聞いていて、その言葉通りに行動したので、列を崩すことなく、100名近い集団がさっさと歩くことができたのだと思いました。その結果、鍛冶橋のバス停に着くと、素早く行動した北中が他のどの中学校よりも早い到着でした。

以上、私が限られた範囲の中で見た3年生の皆さんの行動です。おそらくこれ以外にも、

もっと皆さんの素晴らしい行いや行動はあったことでしょう。

最後に、修学旅行に3日間付き添われた添乗員の飯塚さんがこう感想を述べられています。「私はこれまでの50～60校近くの学校の添乗をしてきましたが、こんなによく話しを聞いていて、私の指示が通った生徒さんは見たことがありませんでした。これまでのベスト3に間違いなく入ります。」とおっしゃってくださいました。本当に嬉しいことでした。この3日間の貴重な経験をぜひ、自分の心の財産としてください。

2年生・・・『尾瀬学校』で見せた素晴らしい態度

6月20日（月）、2年生の尾瀬学校が行われました。梅雨の合間なので、天気が心配されましたが、活動中はほとんど素晴らしい晴天でした。きっと心掛けが良かったのですね。

6時に集合し、20分には学校を出発しました。行きのバスの中では、ネイチャーガイドさんの話を聞く場面がありましたが、誰もおしゃべりをせずに聞いていました。車中のマナーや運転手さんへの挨拶もしっかりできていました。バスに揺られて約3時間後、尾瀬の入口である鳩待峠に着きました。ここからは班ごとの少人数活動です。ガイドさんの指示に従って整列し、どの班の生徒も真剣に説明を受けていました。私はその後、13班全ての様子を少しずつ見て回りましたが、どの班の生徒達もガイドさんが話しをはじめると、直ぐにガイドさんの周りに集まって、説明を静かに聞いていました。自分勝手なおしゃべりをする人はいませんでした。この日は幸いなことに北中以外に他の学校は尾瀬に入っていませんでした。そのため、北中のどの班がどこにいるのかもよく分かりました。やがてお昼の時間になると、ビジターセンター前で食べる班、尾瀬ヶ原の中で休憩しながら食べる班、いろいろでしたが、みんな嬉しそうにおしゃべりしながら笑顔で食べていました。

午後1時半近くには、全ての活動が終わり、尾瀬ヶ原から鳩待峠に戻ってきました。私は4、5名のガイドさんに、今日の生徒達の班での様子をお聞きしました。すると、お聞きしたガイドさん全員が「北中の生徒は去年もそうでしたが、今年もしっかりしていますね。話しをよく聞いていたし、質問もしてくる生徒もいました。マナーもしっかり守っていました。」との嬉しい言葉が返ってきました。2年生は学校生活だけでなく、尾瀬学校でも同じように行動し、変わりませんでした。北中の伝統は確実に守られていると思いました。

2、3年生のこれらの活動の様子を見ただけでも、北中は「残り20% With Up して『太田一』」にほとんど近づいたと思いました。

皆さんは『美質（びしつ）』という言葉を知っていますか？「『美質』とは、その人が身に付けている心の美しさや感受性の豊かさ、人柄の気高さなどのすぐれた気質のこと」を言います。今の北中生には、その『美質』が身に付いています。『美質』は具体的な行動につながったときに、周囲の人々を関心させたり、感動させたりするものです。ではその『美質』は、どうやって身に付けたのでしょうか？私は『美質』は学校生活や家庭生活の中の日々の当たり前の活動、行動を重ねること、すなわち凡事を徹底することのみで身に付けられると思っています。

さらに身に付けた『美質』はどうしたら鍛えられるのでしょうか。それは修学旅行や尾瀬学校などのような学校以外の活動場面で、身に付けた『美質』を行使することで鍛えられます。今回、2、3年生は尾瀬学校と修学旅行とで、しっかりと『美質』を行使し、鍛えてきました。

さあ、この後は1年生の皆さんの番です。1年生には10月に林間学校があります。きっと、2、3年生に続いて、『太田一』の学校を意識して、『美質』を鍛える行動をとり、周囲の人々に感動を与えてくれることでしょう。期待しています。